

行ってこーわい 会ってこーわい

「義農まんじゅうの会」

義農作兵衛の遺徳をしのび
伝統の味を作り続ける

No. 33

麦味噌の芳しい香りとお朴な風味の「義農まんじゅう」。「郷土が誇る義農作兵衛の優しい心を後世に伝えたい」という想いから、生活改善グループが工夫を重ねて、完成させたおまんじゅうです。かつては文化祭や夏祭りで販売されていましたが、現在では毎年4月23日に開かれる「義農祭」でだけ販売されています。作っているのは「義農まんじゅうの会」。2,200個を前日の1日で作り上げます。

会員のほとんどは義農まんじゅう考案当初から関わっているベテラン。「もう慣れたもんよ」という皆さんの言葉通り、粉をふるって、生地を練って、あんこを入れて、並べて蒸して、「ぎのう」の焼印を入れて、最後はパックに詰めて…。段取り良く繰り返し作業が進んでいきます。

代表の山田貞子さんは「1年に1回だけの活動でさみしいです。スタートは約30年前。義農作兵衛の優しい心を伝えていきたいで作ったものです。これからも、義農精神もこの味もずっと後世に伝えていきたいので、若い人にも協力してもらえれば」と願いを込めます。



1. 麦味噌の入った生地であんこをくるみ、一つ一つ心を込めて丸めていく
2. 4月22日は、11人で力を合わせて2,200個の義農まんじゅうを作りました

▼編集後記

東日本大震災以降、被災地の皆さんは、復興に向け、全力で取り組んでいます。今、全国の広報担当者たちがそんな被災地の皆さんにエールを送り、復興の力にしております。「プラウド！ジャパン」(誇り高き日本)。
誰でも何ができることがあるはず
です。(高橋)



青空の下、保育所の子どもたちの芋づる植えを取材しました。子どもたちは畑で種芋を植えた後、高校生のお姉さんと保育所のグラウンドで遊んでいました。畑で土をさわったり、作物を育て、グラウンドの土の上で力いっぱい遊び、お家に帰る。そのどれもが、当たり前で幸せな光景であり、そのどれもが、今被災地では当たり前前にできません。今何をすべきでしょうか。今月の防災特集、必読です。(松田)

発行/松前町
編集/広報編集委員会
発行日/平成23年6月1日

〒791-3192
愛媛県伊予郡松前町大字筒井631
☎089-985-2111(代)

この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油墨、水なし印刷で作成しています。



申請から工事までお任せください! 広告

下水管接続工事

(有)環境管理研究所

本社/松山市土居町500番15 ☎965-1888
支店/伊予郡松前町東古泉405-3

補聴器

3か月間 無料 試験 サービス実施中!

松山市末広町16-6 定休日/正月、お盆を除き年中無休
聞こえをサポート・ケアし、やさしい音を提供する

中央補聴器センター

CHUO 松山店

TEL/FAX. 089-934-4347
www.central-h.net

作りませんか?住基カード

平成24年3月31日まで
発行手数料500円が無料!
(公的個人認証希望の場合は500円必要)

☎町民課住民係 ☎985-4105